

年金積立 グローバル・ラップ・バランス (安定型)

<愛称 DC グローバル・ラップ・バランス (安定型)>

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第25期(決算日2026年3月25日)

作成対象期間(2025年3月26日～2026年3月25日)

第25期末(2026年3月25日)

基準価額	20,507円
純資産総額	1,756百万円
第25期	
騰落率	6.5%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「年金積立 グローバル・ラップ・バランス(安定型)」は、2026年3月25日に第25期の決算を行ないました。

当ファンドは、主に、世界各国の株式、債券に国際分散投資を行なうことで、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<958204>

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当運用報告書に関するお問い合わせ先

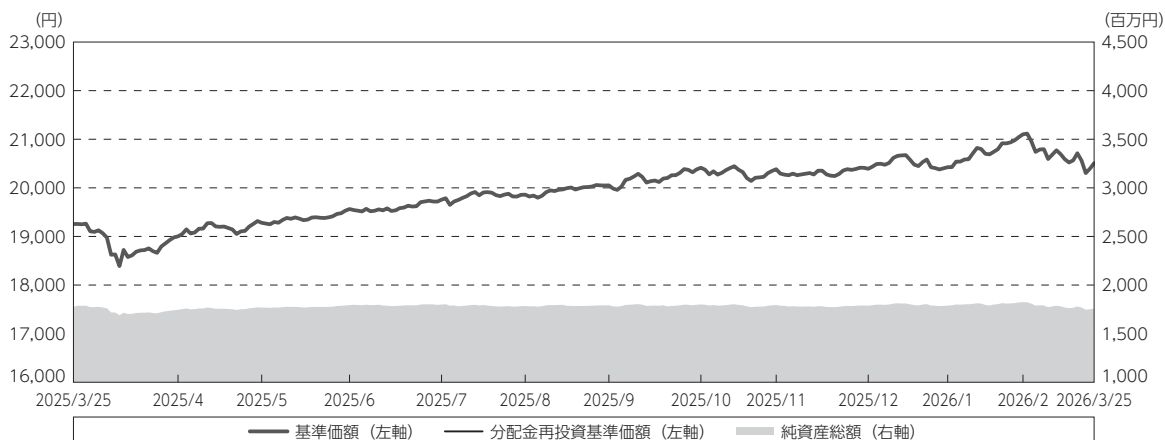
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年3月26日～2026年3月25日)



期 首：19,255円

期 末：20,507円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 6.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年3月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドを通じて世界各国の株式、債券に国際分散投資を行なうことで、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。資産配分および運用アドバイザーの決定は、SMB Cグローバル・インベストメント&コンサルティングの助言をもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが行なっております。

基準価額の騰落率(分配金込み)を各マザーファンドの騰落率に要因分解すると以下の通りです。

日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	+2.95%
日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	+2.08%
日本債券グローバル・ラップマザーファンド	-1.89%
北米株式グローバル・ラップマザーファンド	+1.24%
欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	+0.95%
アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	+0.39%
海外債券グローバル・ラップマザーファンド	+0.78%
年金積立 グローバル・ラップ・バランス(安定型)	+6.50%

1万口当たりの費用明細

(2025年3月26日～2026年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	224	1.122	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(121)	(0.605)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(92)	(0.462)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(11)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.017	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.015)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.001)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.008	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0.008)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	5	0.024	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	234	1.171	
期中の平均基準価額は、19,944円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

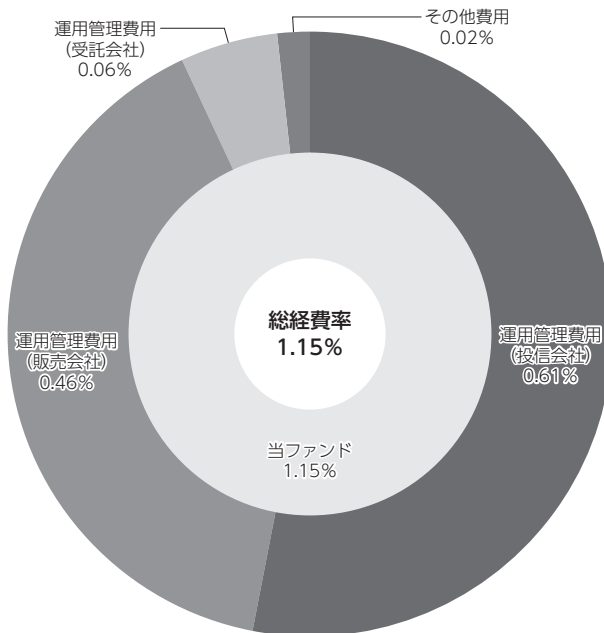
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.15%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

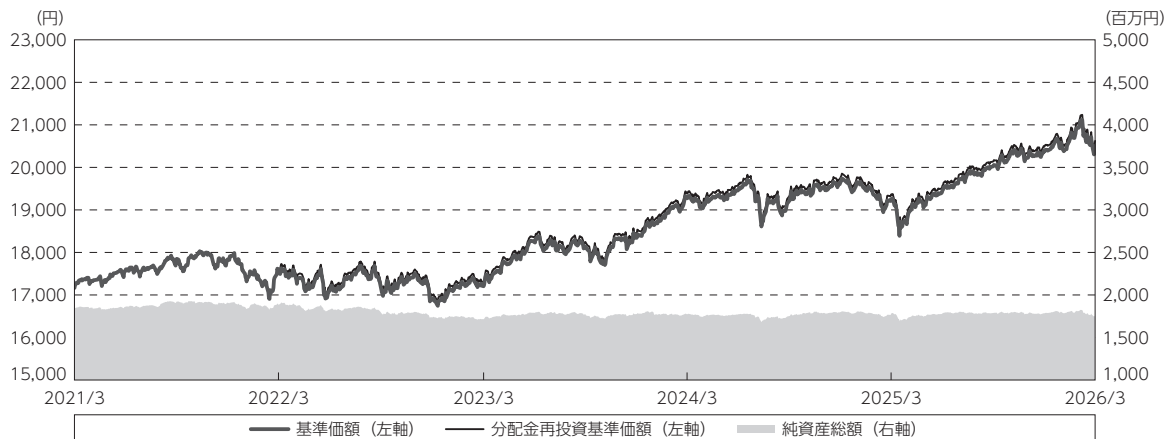
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年3月25日～2026年3月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2021年3月25日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年3月25日 決算日	2022年3月25日 決算日	2023年3月27日 決算日	2024年3月25日 決算日	2025年3月25日 決算日	2026年3月25日 決算日
基準価額 (円)	17,164	17,526	17,204	19,273	19,255	20,507
期間分配金合計(税込み) (円)	—	100	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.7	△ 1.8	12.0	△ 0.1	6.5
純資産総額 (百万円)	1,830	1,885	1,714	1,773	1,775	1,756

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2025年3月26日～2026年3月25日)

(株式市況)

国内株式市場は、米関税政策を巡る不確実性が広がる中、2025年4月上旬に米政権が公表した相互関税が市場予想を上回る規模であったことから、急落しました。その後、米関税政策に対する強硬姿勢の軟化を背景に反発し、8月中旬まで上昇基調で推移しました。9月以降は、米国を中心とするAI（人工知能）関連の過熱感から軟調な場面もありましたが、米国の利下げ観測や高市新政権による積極財政期待、衆議院選挙での自民党圧勝による政策推進期待などから、2026年2月末にかけて上昇基調となりました。期間末にかけては、中東情勢悪化を受けた原油高からリスク回避姿勢が高まり、上げ幅を縮めました。

海外株式市場は、米政権による相互関税の発表を嫌気して株価は2025年4月上旬に急落しましたが、相互関税の一時停止や各国との通商協議の進展を受けて7月下旬まで好調な相場展開となりました。8月以降は米利下げ観測の高まりなどから上昇した後、AI関連の過剰投資懸念から軟調な場面もあったものの、11月下旬以降は米利下げ観測の高まりやAI関連の業績拡大期待などから2026年2月上旬まで上昇しました。期間末にかけては、中東情勢を巡る警戒感から軟調に推移しました。

(債券市況)

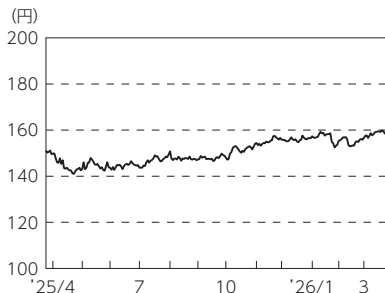
国内債券市場は、2025年4月上旬に米関税政策を巡る不透明感から急上昇しましたが、同政策が緩和方向に転じたことから反落し、7月まで軟調に推移しました。その後は、小幅な値動きの中、概ね横ばいとなり、11月以降は高市新政権の積極財政による財政悪化懸念や日銀の利上げ観測などから2026年1月中旬まで再び弱含む展開となりました。1月下旬以降は、過度な財政悪化懸念が後退したことから買い優勢となりましたが、期間末にかけては原油高を受けてインフレ懸念が広がり、上値の重い展開となりました。

海外債券市場は、米国では、関税政策によるインフレ再燃懸念から軟調となる場面があったものの、追加利下げ観測の高まりなどを背景に2026年2月末まで底堅く推移しました。期間末にかけてはインフレ懸念から利下げ観測が後退し、上げ幅を縮めました。一方、欧州では、2025年4月は米関税政策を受けたリスク回避姿勢の高まりから上昇しましたが、欧州主要国の政治・財政を巡る不透明感が続く中、7月以降は欧州中央銀行（ECB）が政策金利を据え置いたこともあり、債券市場は方向感に乏しい展開が続く、2026年3月以降はインフレ懸念から軟調に推移しました。

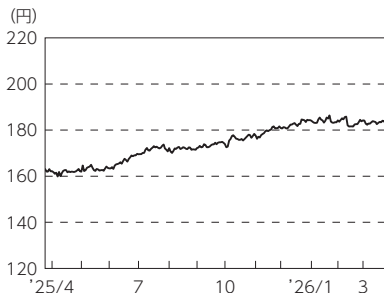
(為替市況)

期間中における主要通貨 (対円) は、下記の推移となりました。

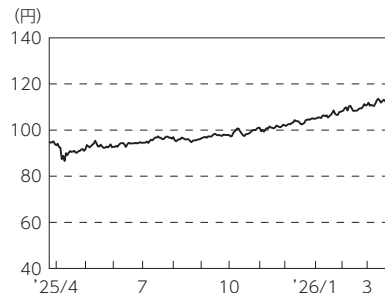
円/アメリカドルの推移



円/ユーロの推移



円/オーストラリアドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月26日～2026年3月25日)

(当ファンド)

当期間は日本株式と欧州先進国株式に対して積極的に、その他の資産に対しては慎重とする投資配分を継続しつつ、4回の配分変更を行ないました。北米株式、アジア太平洋先進国株式、海外債券への配分を抑制したことはマイナス効果となりましたが、他の株式資産や日本債券の配分がプラス効果となりました。期間を通じての当ファンドの資産配分の効果はプラスとなりました。

なお、当期間中は、各マザーファンドにおける運用アドバイザーの変更は行ないませんでした。

	日本大型株式 グローバル・ラップ マザーファンド	日本小型株式 グローバル・ラップ マザーファンド	日本債券 グローバル・ラップ マザーファンド	北米株式 グローバル・ラップ マザーファンド	欧州先進国株式 グローバル・ラップ マザーファンド	アジア太平洋 先進国株式 グローバル・ラップ マザーファンド	海外債券 グローバル・ラップ マザーファンド
期間の初め ~ 2025年6月3日	10.4%	6.3%	59.9%	8.5%	5.4%	1.7%	7.8%
2025年6月4日 ~ 2025年7月2日	10.5%	6.2%	59.3%	9.1%	5.9%	1.6%	7.4%
2025年7月3日 ~ 2025年10月13日	10.5%	6.3%	59.9%	8.4%	5.4%	1.8%	7.7%
2025年10月14日 ~ 2025年11月5日	10.5%	6.3%	59.2%	9.1%	5.9%	1.6%	7.4%
2025年11月6日 ~ 期間末	10.5%	6.3%	59.8%	8.5%	5.6%	1.6%	7.7%

(各マザーファンド)

各マザーファンドにおいては、それぞれの運用アドバイザーが運用方針に沿って、信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

マザーファンド	運用アドバイザー	運用方針
日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社	ファンダメンタルズ分析をベースに資産の均衡価値と市場価格との乖離を捉えることにより、超過収益の獲得を図ることをめざします。
日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	スパークス・アセット・マネジメント株式会社	経済構造が変革する中で成長する新興企業や、既存の産業の中で自ら体質改善を図りながら成長を捉えようとする企業に選別投資することをめざします。
日本債券グローバル・ラップマザーファンド	三井住友トラスト・アセット・マネジメント株式会社	マーケット動向、マクロ動向、クレジット動向の丹念な調査・分析により、独自に市場テーマを追求し、投資行動に効果的に反映することで超過収益の獲得をめざします。
北米株式グローバル・ラップマザーファンド	ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・U.S.・エルエルシー	個別企業リサーチに基づく徹底したボトムアップのファンダメンタル・アプローチによる、株式の成長性に着目したポートフォリオの構築をめざします。
欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	MFSインターナショナル(U.K.)リミテッド	産業・企業の徹底したファンダメンタルズ分析を行ない、継続的に高い収益成長が期待できるクオリティの高い企業を発掘し、相対的に割安な株価水準で組入れを図ることをめざします。
アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	シュローダー・インベストメント・マネージメント(シンガポール)リミテッド	投資対象市場や投資対象企業について実施される徹底した調査・分析によって、本来の投資価値に比べて株価水準が割安な銘柄を見極め、またマクロ分析に基づく国別配分を組合せ、リスクコントロールに配慮しながらポートフォリオを構築することをめざします。
海外債券グローバル・ラップマザーファンド	ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー	「専門性を持ったリサーチ」、「分散されたアルファ源泉における多様な戦略」、「統合されたリスク管理」を通じて、超過収益の獲得をめざします。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月26日～2026年3月25日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2025年3月26日～2026年3月25日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第25期
	2025年3月26日～ 2026年3月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,626

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**(当ファンド)**

引き続き、マザーファンド受益証券を通じて分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。また、市況見通しなどに応じて資産配分比率の調整を行なうことによって、収益の拡大を図ります。

(各マザーファンド)

各マザーファンドにおいては、それぞれの運用アドバイザーが運用方針に沿って、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

約款変更について

2025年3月26日から2026年3月25日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

●2020年10月10日付の基本資産配分変更について

当ファンドにおける各マザーファンドへの基本資産配分を、2020年10月10日付で、以下の通りに変更いたしました。

	(旧)	(新)
日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	8%	9%
日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	6%	6%
日本債券グローバル・ラップマザーファンド	60%	60%
北米株式グローバル・ラップマザーファンド	10%	10%
欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	6%	5%
アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	2%	2%
海外債券グローバル・ラップマザーファンド	8%	8%

※マークしている箇所が実質的な変更箇所です。

当ファンドについて、運用報告書(全体版)は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(第56条の2)

当ファンドについて、委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更したため、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(第1条、第16条)

<運用報告書の電子交付に関するご案内>

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正(施行:2025年4月)が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供に取り組んでまいります。

その他の変更について

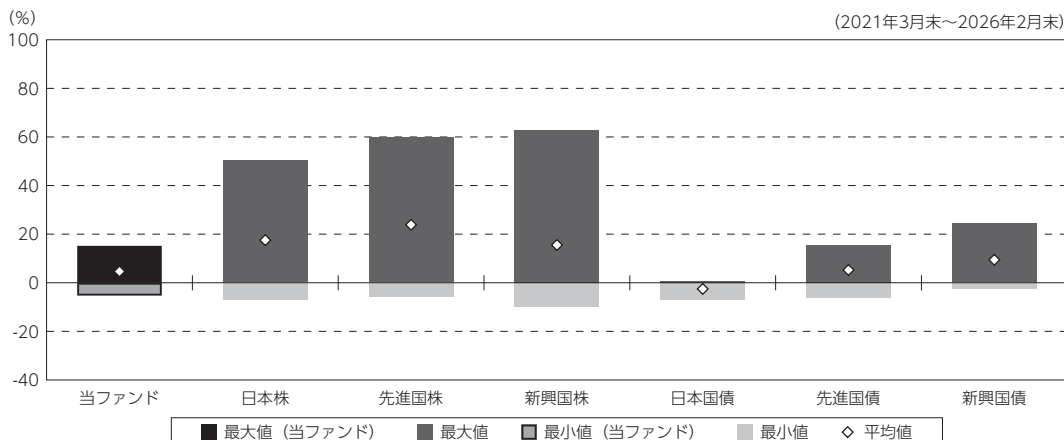
当ファンドの投資顧問(投資助言)会社である「日興アセットマネジメント アメリカズ・インク」は、2025年9月1日付けで「アモーヴァ・アセットマネジメント・アメリカズインク」へ社名変更いたしました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2001年10月17日から原則無期限です。	
運用方針	主として投資信託の受益証券に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	年金積立 グローバル・ラップ・バランス (安定型)	投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
	日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	日本債券グローバル・ラップマザーファンド	わが国の公社債および短期金融資産を主要投資対象とします。
	北米株式グローバル・ラップマザーファンド	米国およびカナダの金融商品取引所上場株式およびNASDAQ市場で取引されている株式を主要投資対象とします。
	欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	欧州主要先進国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を主要投資対象とします。
	アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	アジア・環太平洋主要先進国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	海外債券グローバル・ラップマザーファンド	海外の公社債を主要投資対象とします。
	主として、マザーファンドを通じて世界各国の株式、債券に国際分散投資を行なうことで、中長期的な信託財産の成長をめざします。各マザーファンドへの投資比率は、基本資産配分を基準に、中期的な市況見通しに応じて機動的に変更します。SMB Cグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社 (SGIC) による運用状況のモニタリングのもと、運用アドバイザーの決定は、SGICに加えてアモーヴァ・アセットマネジメント・アメリカズインクからの情報提供や助言をもとに、アモーヴァ・アセットマネジメントが行ないます。また、資産配分は、SGICの助言をもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが行ないます。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	15.2	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値	△ 5.3	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	4.7	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: TOPIX (東証株価指数) 配当込み

先進国株: MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株: MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債: FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●TOPIX (東証株価指数) 配当込みは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年3月25日現在)

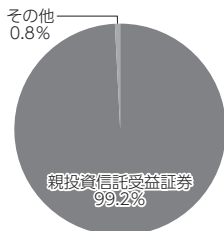
○組入上位ファンド

銘柄名	第25期末
	%
日本債券グローバル・ラップマザーファンド	59.2
日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	10.6
北米株式グローバル・ラップマザーファンド	8.3
その他	21.2
組入銘柄数	7銘柄

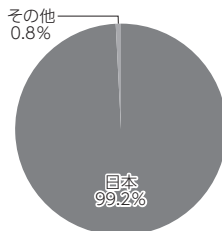
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

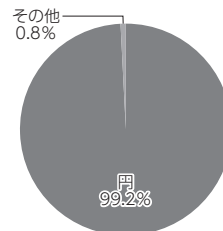
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

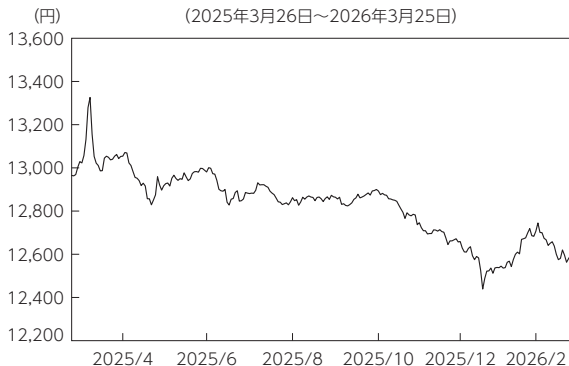
項目	第25期末
	2026年3月25日
純資産総額	1,756,484,070円
受益権総口数	856,522,253口
1万口当たり基準価額	20,507円

(注) 期中における追加設定元本額は63,701,629円、同解約元本額は129,227,039円です。

組入上位ファンドの概要

日本債券グローバル・ラップマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2025年3月26日～2026年3月25日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	0	0.000

期中の平均基準価額は、12,847円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2026年3月25日現在)

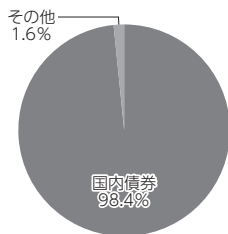
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
					%
1	第380回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	16.0
2	第371回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	12.4
3	第183回利付国債(5年)	国債証券	円	日本	10.2
4	第381回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	4.8
5	第194回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	4.3
6	第180回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	3.0
7	第89回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	2.6
8	第175回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	1.8
9	第70回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	1.7
10	第63回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	1.3
	組入銘柄数		97銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

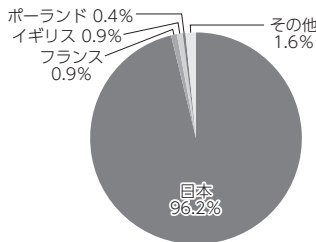
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

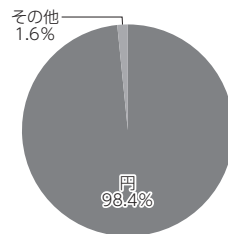
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

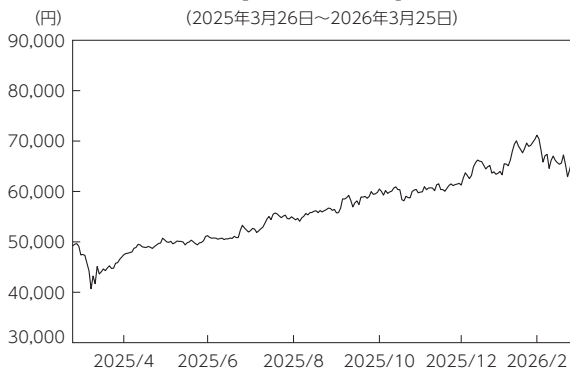
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2025年3月26日～2026年3月25日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式)	29 (29)	0.052 (0.052)
合 計	29	0.052
期中の平均基準価額は、56,464円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

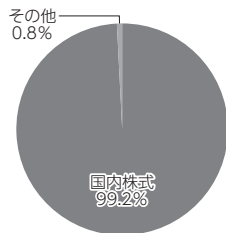
【組入上位10銘柄】

(2026年3月25日現在)

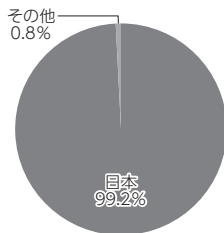
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	円	日本	6.4
2	三井物産	卸売業	円	日本	4.3
3	ソニーグループ	電気機器	円	日本	4.0
4	伊藤忠商事	卸売業	円	日本	3.9
5	トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	3.6
6	日立製作所	電気機器	円	日本	3.3
7	東京エレクトロン	電気機器	円	日本	3.2
8	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	円	日本	3.2
9	住友電気工業	非鉄金属	円	日本	2.9
10	HOYA	精密機器	円	日本	2.8
	組入銘柄数		66銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

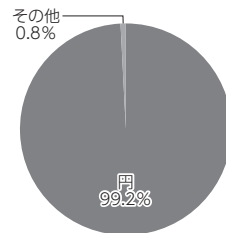
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

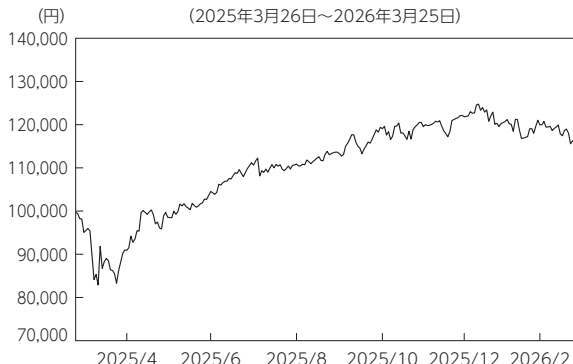


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

北米株式グローバル・ラップマザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年3月26日～2026年3月25日)



【1万口当たりの費用明細】

(2025年3月26日～2026年3月25日)

項目	当期	
	金額 円	比率 %
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	21 (21) (0)	0.019 (0.019) (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	37 (37) (0)	0.034 (0.034) (0.000)
合計	58	0.053

期中の平均基準価額は、110,584円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2026年3月25日現在)

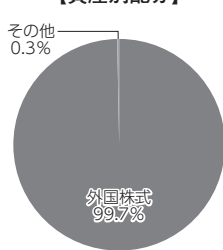
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	8.3
2 ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	5.8
3 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	5.5
4 AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	アメリカドル	アメリカ	3.7
5 APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	3.6
6 BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	3.4
7 JPMORGAN CHASE & CO	銀行	アメリカドル	アメリカ	2.6
8 META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	2.3
9 PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品・パーソナル用品	アメリカドル	アメリカ	2.2
10 LAM RESEARCH CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	1.9
組入銘柄数			101銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

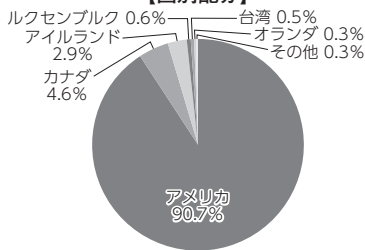
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

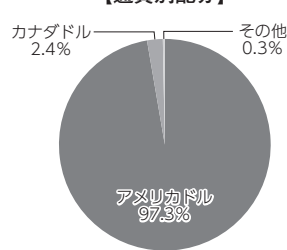
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。